

## 付録 技術基準の一覧

無線設備 試験項目等		8 0 0 M H z 帯デジタルMCA
割当周波数又は指定周波数		9 3 0 M H z ～ 9 4 0 M H z
チャンネルの数又は間隔		2 5 k H z 間隔
周波数の許容偏差		$\pm 3 \times 10^{-6}$
占有周波数帯幅の許容値		2 4 . 3 k H z
スプリアス発射又は不要発射の強度の許容値		1 W 超 : $-60 \text{ dBc}$ 又は $2.5 \mu \text{W}$ 以下 1 W 以下 : $25 \mu \text{W}$ 以下
空中線電力	指定値	5 0 W 以下 (証明規則 第 2 条第 1 項第 2 0 号の 2) 陸上移動局及び指令局 : 2 W 以下 (電波法関係審査基準)
	許容偏差	+ 2 0 %    - 5 0 %
隣接チャンネル漏洩電力の許容値		搬送波周波数から 2 5 k H z 離調 $\pm R$ ( $R$ : 変調信号の伝送速度の $1/4$ ) の帯域内で 1 W 超 : $-55 \text{ dBc}$ 又は $32 \mu \text{W}$ 以下 1 W 以下 : $-45 \text{ dBc}$ 以下
搬送波を送信していないときの漏洩電力		占有周波数帯幅内 : $-50 \text{ dBm}$ 以下 占有周波数帯幅外 : $4 \text{ nW}$ 以下
変調信号の送信速度		3 2 k b p s 以上
副次的に発する電波等の限度		4 n W 以下
送受信装置以外のその他の装置		制御装置 記憶装置の確認 空中線電力の自動制御 周波数選択 通信時間制限 電波の発射停止 無線設備故障時の電波の発射停止